

平成 27 年度 事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

目 次

- P1～P3…… 法人の概要
- P4～P5…… 事業の概要
- P6～P9…… 湊川短期大学事業報告
- P10……… 三田松聖高等学校事業報告
- P11……… 湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
- P12……… 湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
- P13……… 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
- P14……… 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
- P15……… 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
- P16……… 湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
- P17……… 財務の概要
- P18……… 平成27年度財務報告
- P19～P20… 過去三ヵ年の財務推移表
- P21～P23… 平成27年度決算報告グラフ他分析資料

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成27年度 事業報告書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の教育は、校祖、幸田たま女史の何事にもくじけぬ不撓不屈の湊川精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い特性と、健全な身体を備え、新時代を即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

- ・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲をもとに、科学心を啓培し

- ・ 誠実不壞の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、举措清楚に意志凜然と

- ・ 全人の人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を琢磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園) 平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園) 平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園) 平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園) 平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

4 役員・評議員の概要

【役員】

理事長	浅井祐子	監事	監事	下山隆一郎
常務理事	山野上素充		監事	木寅文雄
常任理事	堀忍			(2名)
常任理事	大前衛			
常任理事	則木豊丈			
常任理事	原口富美子			
理事	柳田昌三			
理事	小室烈生			
理事	高尾裕子			
	(9名)			

【評議員】

評議員	評議員	浅井祐子	評議員	上田紀夫
	評議員	堀忍	評議員	武田俊昭
	評議員	大前衛	評議員	川崎宏紀
	評議員	則木豊丈	評議員	藤原智
	評議員	大前成美	評議員	藤本まり子
	評議員	久保廣昭	評議員	西川智子
	評議員	大前通代	評議員	今端幸雄
	評議員	原口富美子	評議員	柳田昌三
	評議員	中井重樹	評議員	田仲正之
	評議員	馬越美佳	評議員	高尾裕子
	評議員	大西則夫	評議員	山野上素充
	評議員	斎田榮男	評議員	古林伊津子
			評議員	小室烈生
				(25名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人間生活学科	80	160	119	12	23	4	6
幼児教育保育学科	100	200	187	13	19	8	9
専攻科健康教育専攻	10	20	13				
専攻科幼児教育専攻	20	40	8				
合計	210	420	327	25	42	12	15

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特進コース			75				
総合コース			1033				
合計	210	270	1108	52	11	9	1

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西舞子幼稚園	70		193	13	8	0	3
神陵台幼稚園	62		158	12	7	0	2
北摂第一幼稚園	110		224	13	9	1	3
北摂中央幼稚園	100		265	13	14	0	1
北摂学園幼稚園	85		115	8	12	0	1
合計	427		955	59	50	1	10

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	80	15	5	2	7
合計	15	70	80	15	5	2	7

※ 学生・生徒・園児・教職員数 2015年(平成27年5月1日現在)

2

事業の概要

(1) 平成27年度の主な事業

(法 人)

冷蔵庫HF-150Z3(学生食堂)	365,040	ホシザキ阪神(株)
松聖庵待合(茶室)屋根葺き替え工事	745,200	川人工ム店

(短 大)

体育館床補修工事	1,722,600	奥アンツ一力(株)
体育館水銀灯LED及び落下防止工事	2,700,000	(有)花崎電気工事
吸引シミュレーターQちゃん4台 M85 11229-000	544,320	宮野医療器(株)
経管栄養シミュレーター4台 MW8 11386-000	876,960	宮野医療器(株)
湊川短期大学図書館階段室・階段室屋上防水改修工事	2,581,200	山陽建材工事(株)
湊川短期大学キャンパス整備第1期工事	235,245,600	(株)熊谷組

(学内寮)

学生寮リニューアル工事	105,192,000	(株)神戸営繕
-------------	-------------	---------

(高 校)

校舎塗装他修理	333,720	三日月建設(株)
グランドプレハブ修理	507,600	三日月建設(株)
記念体育館1階便所床乾式化改修工事	1,296,000	三日月建設(株)
記念体育館1階トイレ改修工事	604,800	(有)なべい設備商会
本館屋上消火配管凍結破損修理他	405,000	(有)なべい設備商会
グランドトイレ新設	1,731,080	(有)なべい設備商会
プールろ過施設・貯水槽新設工事	18,835,200	(有)なべい設備商会
テニスコート防球ネット修理	324,000	清立商工(株)
グランド防球ネット・ネットネーム設置	19,785,600	清立商工(株)
第一体育館壁修理	486,000	塩谷建設(株)
木製書架・片面傾斜書架	1,752,806	アイリストセ(株)
校内舗装改修工事	14,700,000	前田道路(株)
防護柵改修工事	1,674,000	前田道路(株)
グランド改修工事	32,400,000	阪神園芸(株)
棒高跳ピット	399,600	阪神園芸(株)
加圧ポンプ電源工事他	640,000	(有)花崎電気工事
グランドスピーカー工事	359,100	アルファー電気
体育館暗幕カーテン工事	361,692	インテリアかとう
折畳式・固定式バスケットゴール	2,592,000	(株)松三堂
グランドサッカーゴール	327,240	大坪スポーツ
シャッター式物置(2棟一式)	399,600	(有)ライチョウシステムズ
図書丸ねっと(図書管理システム一式)	773,280	(株)ナニワ計算センター
ヤマハバストロンホーン・ヤマハクラリネット	843,520	森岡楽器

(西舞子幼稚園)

西舞子幼稚園改築外溝工事	28,371,600	前田建設工業(株)
倉庫新設工事	3,456,000	塩谷建設(株)
溶接式ジャングルジム	1,190,000	ひかりのくに(株)

(神陵台幼稚園)

プール改修工事	1,404,000	山陽建材工事(株)
舟型遊具海賊船リニューアル	1,447,200	チャイルド社(株)
トイレ洋式化ならびに進入口改修工事	21,760,920	但南建設(株)

(北摂第一幼稚園)

管理棟・遊戯棟改修	18,684,000	山陽建材工事(株)
オーニング生地張替工事	412,400	フレーベル館

(北摂中央幼稚園)

保育室手洗い場棚改修	583,200	(有)内藤木工所
プレハブ保育室増床工事	2,072,520	川人工務店・ナカタ設計
砂場ラバーフレーム設置	519,480	但南建設(株)

(北摂学園幼稚園)

テラスパルコニー床シート貼り工事	1,458,000	但南建設(株)
学園幼稚園外部通路改修(全面)工事	918,000	但南建設(株)
北摂学園幼稚園保育室増築工事	22,680,000	但南建設(株)
2階トイレ改修他工事	502,200	山陽建材工事(株)
うす型テーブル2×4 10台	320,000	(株)ジャクエツ

(キッズポート保育園)

多目的ホール雨漏り補修	276,480	山陽建材工事(株)
-------------	---------	-----------

平成 27 年度 湿川短期大学事業報告

1. 短大運営

平成 27 年度は、学長のリーダーシップの強化を旨とする学校教育法改定を受け、短大の運営体制の整備に取り組んだ。これまでの学内組織を見直し、常設委員会、専門委員会およびワーキンググループに分類整理した他、各委員会の規程を整備した。9 月からは副学長を配置し、大学運営の強化に努めた。

向こう 10 年に 18 歳人口が一割減になるという現実を前に、短大の教職員の当事者意識を高めることは喫緊の課題であることから、FD/SD に力を入れた。テーマとしたのは、「OB 職員を招いての短期大学創設者の意図の再確認」「人事考課の意味」「ハラスメント問題への対応」「高大連携の在り方」である。ハラスメント防止に関しては、制度を確立するための準備委員会を発足させ、3 月 24 日の教授会で「湊川短期大学ハラスメント防止宣言」と「湊川短期大学ハラスメントの防止等に関する規程」を制定した。

2. 学生の動向

平成 27 年度末での学生の動向は、卒業生が 142 名（人間生活学科 60 名：人間健康専攻 41 名・生活福祉専攻 19 名、幼児教育保育学科 82 名）、専攻科は 10 名（健康教育 6 名、幼児教育 4 名）であった。入学者は 146 名（人間生活学科 55 名：人間健康専攻 41 名・生活福祉専攻 14 名、幼児教育保育学科 91 名、専攻科 11：健康教育専攻 7・幼児教育専攻 4）であった。また就職者数は、全体で 117 名（人間生活学科 45 名：人間健康専攻 31 名・生活福祉専攻 14 名、幼児教育保育学科 72 名、専攻科 9 名：健康教育 5 名・幼児教育 4 名）であり、これは専攻科を除いた就職率で、全体で 97.5%（人間生活学科 93.9%：人間健康専攻 93.9%・生活福祉専攻 93.3%、幼児教育保育学科 100%）である。専攻科は 100%（健康教育 100%、幼児教育 100%）である。

3. 学生教育

① 教務委員会

本学で伝統的な精神として重要視している「茶道」（選択・通年科目）を 1 年前期・総合教育科目・選択必修「茶道 I」として開講し、より深く学習したい学生には後期選択科目として「茶道 II」を開講した。

また、学生に課題解決型の能力育成をめざし、総合教育科目の充実を目的として、1 年前期開講科目「湊川のあゆみ」を再検討し、従来からの湊川短期大学の歴史を理解することを目的とする「湊川のあゆみ I」（選択必修科目）に加えて、湊川短期大学が位置する地域を理解し課題を見出す学習を目的とする「湊川のあゆみ II」（必修科目）を 28 年度開講科目にするよう準備した。さらに「人間学入門」の内容を充実することにし、「包摂型社会の構築」をテーマとする内容に変更する可能性を 28 年度の検討課題にすることにした。

各学科専攻では、免許取得において基礎力と専門性の充実をめざすことを目的に、幼児教育保育学科では学生の伴奏力に応じたピアノ授業内容の編成、人間生活学科生活福祉専攻では癒し力を身に付けるケア系科目の追加および充実、人間健康専攻では教職専門教育科

目の見直しおよび充実について検討し、28年度に向けた準備をした。

アクティブラーニングを取り入れる教育については、各学科専攻で実施することにしたが、実施内容、テキスト作成、評価、特にループリック評価に課題があることが判明した。これらの課題は、28年度に検討して改善する予定である。

② 幼児教育保育学科（同専攻）

子育て支援センターとの連携によって実施している、「みなとっちひろば」のボランティアと「保育まるごとフェスタ」は、社会貢献と教育、両方の意味合いがあるユニークな活動であることから、学生全員に運営ボランティアとして参加してもらうことによって、実践力を積むことができるよう指導した。また免許・資格取得にあたり、学力が低いと判断された学生には、追加の実習を実施する等のきめ細かな対応をとった。

7月には、教育・保育職の進路について考えを深めるために、附属園の教員との交流を目的とした「附属園の先生と語る会」を開催した。学生は仕事の内容を知ることができただけでなく、やりがいや保育者としての生き方にも関心を持つことができた。

③ 人間生活学科

各専攻のチューターによる指導を基本にしながら、面談指導内容が休学・退学に関する状況になった場合には、学科会で情報を共有し支援の方向を検討するようにした。さらに、就職内定状況の情報交換を行い、専攻を超えて学生への助言を行い、就職活動を支援した。

卒業研究については、各学科専攻の特徴ある指導を重視しながら共通し一貫した指導を行うように心がけ、学生がより熱心に取り組めるように幼児教育保育学科とも連携することによって、「卒業研究ガイド」を作成した。また学科独自の活動として、「アカデミックライティング教育」をテーマにFDを実施した。

i 人間健康専攻

養護教諭コースの10人が免許を取得した。また採用試験対策の特別講座および技術講習を開催し（卒業生も対象となる）、在籍生で1人1次合格、卒業生で1名1次合格、2名2次合格が出た。養護教諭として就職を希望する学生は全員が講師登録し配属された。

医療事務コンピューターコースでは、授業以外に資格試験対策講座を実施し、医療秘書事務職員として就職を希望する学生はほぼ就職できた。また食育健康コースでは、規定の講義での指導、資格試験に向けた学生への個別指導、グループ指導を行った。さらに、学生が自分の目標をもって学ぶことを勧めた結果、養護教諭1種免許取得、カウンセリング実務士資格取得及び学士認定を受けるために、7人が専攻科へ進学した。

ボランティア活動では、宝塚市立病院のコンサートボランティアにのべ9人の学生が参加し、あおぞらクリニックのあおぞら祭には3人の学生が参加して、地域交流について学んだ。また学校ボランティアとして、神戸市の小学校に1人、三田市の小学校に1人参加した。

教育研究活動としてはアクティブラーニングを取り入れるべく、「道徳教育の研究」などを設定して推進した。

ii 人間生活学科 生活福祉専攻

生活福祉専攻では、当事者の声を聴くことを授業の中に取り入れ、障害のある当事者やそ

の家族が授業の中で、その思いや体験等を学生に伝えるプログラムを展開した。

就職したものの数は 14 名（特別養護老人ホーム 10 名、介護老人保健施設 2 名、デイサービス 1 名、一般企業 1 名）であった。進路決定率は 93.3% である。介護福祉士の資格取得者は 16 名であった。

③ 専攻科

平成 27 年度は、学位授与機構の特例適用による学位授与の最初の年であった。

平成 27 年度の在籍学生数は、健康教育専攻 1 年生が 7 名、2 年生が 6 名、幼児教育専攻 1 年生 4 名・2 年生 4 名であった。2 年生は全員が修了し、学士（教育学）を取得した。取得資格としては、健康教育専攻修了生は第一種養護教諭免許状・カウンセリング実務士資格を、幼児教育専攻修了生は第一種幼稚園教諭免許状・カウンセリング実務士資格をそれぞれ取得した。

健康教育専攻在籍生は、兵庫県下の小学校で実施されている「自然学校」の指導補助員・救護員として参加した。幼児教育専攻在籍生は、「三田市家族の日」の啓発活動の一環として、市内 4箇所のイベントでブースを企画・運営し、三田市駒ヶ谷運動公園子育て交流広場や三田祭りでのイベントに参加した。「専攻科生と語る会」を 8 月に開催すると共に、専攻科 NEWS を発行し、本科生に専攻科の内容を周知し、進学を呼びかけた。

進路としては、公立学校養護教諭正規採用 1 名、公立保育士正規採用 1 名の他、採用試験 1 次合格者を含め公立学校臨時の任用教員などそれが進路を決定した。

4. 社会貢献

幼児教育保育学科では、平成 27 年 8 月に学科教員 3 名が担当して「保育士特例講座」を開催し、47 名の受講者があった。11 月 21 日(土)には、昨年度に引き続き三田市地域子育て支援センター事業として、「みなとっち保育まるごとフェスタ」を開催した。100 名あまりの親子が参加し、ミニコンサート、パネルシアター、親子体操、ミュージカルなどを楽しんだ。地域子育て支援センター〈みな・とっちひろば〉の運営ボランティアとして、学生の積極的な参加があった。

人間生活学科・生活福祉専攻では、平成 27 年度の社会貢献活動として、「介護技術講習会」と「キャリア形成訪問指導事業」を実施した。

介護技術講習会は、地元に勤務する方々からの開催要請が強くある事業であり、夏休み等に開催しているが、実習巡回等が必要であるため 2 クール（8 日間）が限度である。本年度は定員 64 名に対し、51 名が受講した（平成 27 年度で終了）。

キャリア形成訪問指導事業は、厚生労働省の介護職員のキャリアアップのための研修事業である。延べ 51 施設で 502 人の受講生を数えるに至っている。

5. 学生支援

① 進路支援委員会

正課科目「キャリアデザイン I ・ II」での講義・演習を通して、将来展望・働くことの意識付け・コミュニケーション能力等の育成に力を注いだ。また履歴書指導を実施したほか、各種模擬試験、検定試験も実施した。卒業生をパネリストとし、就職活動の体験談や学生生

活で心がける事等、後輩へのアドバイスの機会を設けた。また、卒業生へのフォローとして「ホームカミングデー」を大学祭開催日に行い、卒業生と教員が懇談できる場を提供した。

丹波市と就職支援に係る連携協定を締結し、インターンシップ事業に登録した。その一環として、人間生活学科の学生が丹波市の企業見学会に参加した。就職実績としては、免許資格を生かした専門職への就職を中心に、3月末時点で就職率が97.5%を達成した。

② 学生部

学生部では、学友会が行う様々な行事（新入生歓迎行事・七夕祭・湊成祭・冬季球技大会等）を支援した。学生による部活動としては、現在5つの部、1つのサークル、3つの同好会が活動している。

学生相談については、年度末にアンケートを実施したところ、「気軽に相談できる環境づくり」が浮き彫りになった。「悩み事を誰に相談するか」との問い合わせに、「親」と答えた学生が年々増加し、「短大の友人」が減少した。友人間の人間関係が希薄になってきている。

寮の運営では、翠光寮・楠木寮で、風呂・トイレ・集会室等の改修工事を行った。奨学金では、日本学生支援機構奨学金受給率が53%と、半数以上の学生が受給している。卒業後の返還に改善が見られ、延滞率が6.1%と、短大全国平均の6.8%を下回ったが、依然として課題である。

6. 高大連携

高大連携では同一法人の、三田松聖高校との打ち合わせ会を定例化して協議を継続したほか、兵庫県立三田西陵高校および兵庫県立有馬高校と新たに「高大連携教育協定」を締結した。また地域連携として、兵庫県丹波市との間で「就職支援に関する連携協定」を締結した。

7. キャリア教育研究国際セミナー

平成28年3月1日に、神戸大学ライフヒストリー研究会との共催で、湊川短期大学キャリア教育研究国際セミナーを三田松聖高校と協力して開催した。このセミナーにはカナダのケベック大学モントリオール校から、ダニエル・デマレ教授とパスカル・ガルバーニ教授が来校し指導に当たった。この会には、神戸大学、関西学院大学、愛知教育大学、手塚山大学などからの参加者を含め、42名の参加があった。

8. 自己点検・評価

平成27年度の自己点検・評価に関する第三者評価を受けて、指摘のあった課題の克服に取り組んだ結果を活動報告書としてまとめた（報告書は短大ホームページにアップ）。しかし指摘のあった点をどのように解釈、活用するのかについては十分に対応できていないため、構成員全員で課題を共有しつつその活用方法を考え改善に結びつけるという課題が残る。また平成28年度の自己点検・評価については、すでに愛知学泉短期大学と相互評価を実施することが決まっており、通常の評価項目を活用することにして先方との打ち合わせを行った。

I. 生徒募集状況

① 共学後の志願者・入学者・生徒数の推移

平成27年度入試から公立高校の学区再編(16→5学区)が実施された。それが、本校にどう影響するか心配されたが、逆に志願者も入学者も増えることとなった。その原因として考えられるのは、新制度への不安・本校の実績(進路や部活動)と実態(生徒や学習環境)への高評価によるものと考えている。しかし、当分は不安定と思われる所以、この推移を慎重に見守ることが必要である。

()は男子数 (毎年5月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H23年度	210	1,815 (990)	382(242)	1,000(616)	383	346	271
H24年度	210	1,807 (966)	333(204)	1,008(636)	334	347	327
H25年度	210	1,859 (927)	372(219)	1,008(614)	374	307	327
H26年度	210	2,078(1,168)	392(269)	1,048(673)	391	353	304
H27年度	210	2,302(1,265)	409(265)	1,108(722)	410	363	335

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置した。

(毎年5月1日現在)

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計
H23年度	60	3	940	24	25
H24年度	64	3	944	24	27
H25年度	72	3	936	24	27
H26年度	77	3	971	24	27
H27年度	75	3	1,033	25	28

③ 湊川短大との連携

100周年を間近に控え、5月に学園全体の活性化を図る目的で「高大接続委員会」が発足した。しかし、お互いに協力する方向では一致しているが、まだ具体的な内容は決定していない。

II. 進路実績と部活動の成果

<進路実績>

- ・4年制大学：128名(38.8%)
- ・就職： 51名(15.5%)
- ・短期大学： 41名(12.4%)
- ・進学未定： 29名(8.8%)
- ・専門学校： 81名(24.5%)

<部活動の成果>

強化運動部(野球・サッカー・陸上・男子バスケット・女子バレーボール)の中には、全国大会や近畿大会・県大会などで上位に入る成績を上げる個人や部も出てきた。今後もより一層の強化を図ると共に、必修クラブ制の継続、そして部活動を通じての人格形成に力を入れていきたい。

(3) 平成27年度の主な行事

4月7日	第65回入学式
6月12日,13日	松聖祭(文化の部)
6月16日	松聖祭(体育の部)
8月1日,25日	学校見学会
8月22日,23日	第10回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)クラウンパレス
1月17日～22日	2年生 ハワイへの修学旅行(第11回目)
2月10日	平成28年度入学試験
2月19日	第63回卒業式

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 平成27年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	5	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	88
満3歳児	2	4	6	7	7	11	12	13	13	14	16	16	121
3歳児	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	660
4歳児	59	59	59	59	59	59	59	59	59	60	60	60	711
5歳児	66	67	67	67	67	68	68	68	68	68	68	68	810
計	187	191	194	195	195	201	202	203	203	205	207	207	2390

※今年度より移行した幼稚園型認定こども園において、出願者数と認定別の子ども数の見通しにとまどったが
入園児数も昨年度以上を確保できた。園への期待と受け止め、感謝し今後も利用定員数の安定化に努める。

(2)運営・経営状況

- ・幼稚園全面建て替え、園庭整備もして頂き、5月には竣工式、11月には50周年記念の式典を持つことができた事が何より嬉しく、学園はもとより、保護者、地域の力添えを心より有り難く身に染みて感じた。
- ・新しい環境を保育に生かし、教職員一丸となって取り組み、1年目なりの成果が出せた事は、第三者評価や職員自己反省からも読み取れたが、個々の教師の資質の差や違いや心情の読み取りが管理職に足りず、寄り添いながら、やる気や本音を探り、勤務環境の改善などへ繋げていく力が不十分だった事が反省。

(3)怪我・事故

- ・園児の病院での診断、治療（外科3、眼科2、歯科3）だったが、熱性痙攣、重度の食物アレルギー、癲癇、突発性血小板減少性紫斑病、重度の心臓病など、持病を持った園児への安全な園生活の確保の為、主治医との面談や薬の預かり管理など、医療的配慮を要する園児に対し、現段階で園ができる範囲での配慮を各保護者と話し合いを繰り返し、双方が納得した上で行っている。今後、対応に苦慮する状況になった事態の対策が必要。
- ・新園舎になり、整備された環境下でも、多様な想定の下、不審者、危機災害等の避難訓練を月一回実施し、「命を守る」力が高まるような内容の避難訓練を実施していく。

(4)子育て支援事業

- ・ひよこルーム（預かり保育）AM7:00～19:00 長期休暇中も有り 1日平均約40～45人 各号により料金設定有
- ・つぼみ教室：月4回程度、登録12組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば：月2回程度、満一歳以上未就園親子。随時登録可、地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん：就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

(5)職員研修

- ・新任研修(年14回) ・附属5園研修 ・子育てフォーラム ・県、神私幼連盟研究会{グループ研修(2名)、一般研修(2名)、専門研修(2名)、主任研修、10年目研修(1名)、3月教育研修会にてグループ研修代表報告}・県私幼研究会{子育て相談研修(2名)}・私立幼稚園研修会・垂水区私立幼、保、小連携の会出席、情報交換

(6)購入・修繕等

- ・新園庭 固定遊具購入、大型戸外用放送機器、園庭用時計
- ・隣の打田山公園での野球ボールにより面したガラス窓、2か所割れる。急遽、面格子取付けて頂く。想定外。

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウイーク(6月…明石市立中学校1校、10月…神戸市立中学校3校)
- ・実習生、学生ボランティア受け入れ ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・「みんなまってるよ」就学前事業(5歳児西舞子小へ)
- ・神戸市教委研究実践・幼保小連携プログラム西舞子ブロック 冊子刊行{小1、市幼1、私幼2(明舞幼、西舞子幼)、保2} <テーマ>幼保小連携で、豊かな心を育むカリキュラムづくり

(8)広報・社会活動

- ・園子育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新向上(各園共通化と各園の特色)と 各学年 ブログ更新(1～2週間ごと)
- ・附属5園「入園案内」一本化
- ・県 まちづくり事業「明舞地域再発見モニターツアー」園訪問者(14名)見学と園PR

(9)園内研究(委員会)活動

- ・園内研究会(各学期ごと)の実施 ・子どもの発達に添った内容を軸にした話し合い
- ・年間を通しての保育日誌に基づく保育内容指導と職員間の自由閲覧
- ・園長からの保育参考資料配布

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成27年度事業報告

(1) 在籍状況(定員 240 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	4	4	4	7	9	10	10	11	11	11	81
3歳児	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	516
4歳児	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	648
5歳児	61	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	743
計	158	159	163	163	163	166	168	169	169	170	170	170	1988

* 昨年度と比較して

・認定こども園になり、2号認定の枠が埋まらず人数減になった。

(2) 運営・経営状況

- ・本年度より認定こども園となるが、2号認定の枠が埋まらない学年もあり、定員よりは少ない園児数であった。
- ・満3歳児のクラスは本年度より再開。

(3) 怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数(外科 1回、眼科 1回、整形外科 1回)。
- ・歯科通院は下顎裂傷。保育室の床すべり転倒し顎を強打する。
- ・眼科通院は左角膜びらん。砂場で他児の手が左目に当たり、本児が目をこすってしまう。
- ・整形外科通院は右肘内傷。保育室で保育者が移動するように声掛けしたが移動しない為、手を引き促したところ右肘を脱臼する。

(4) 子育て支援事業

- ・私立幼稚園2歳児子育て応援事業(在宅2歳児対象) は実施、来年度入園希望の応募者が多く好評であった。
- ・みんなの幼稚園事業(未就園児対象、月2回程度)も幼児の体験を重視し参加者が多数。
- ・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設したが申し込みはなかった。

(5) 職員研修

- ・新任研修
- ・附属6園研修
- ・神戸市私立幼稚園専門研修
- ・私立幼稚園教員子育て支援研修(年間8回)
- ・教育相談研修(湊川短大主催)
- ・人権教育研修

(6) 購入・修繕等

- ・保育室トイレを全て洋式トイレに交換・修理。
- ・プール施設の補強工事。(プールサイドすべり止め、プール回りフェンス。)
- ・固定遊具(船型)の塗装と修理。

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク 2校
- ・プレ親体験 2校
- ・実習生受け入れ

(8) 広報・社会活動

- ・垂水区役所の子育て支援課のボードに、ふれあい広場の案内を貼り出す

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・園内保育研究 5~6月に全員実施。1人1~3回実施。

認定こども園 湊川短期大学附属 北摂第一幼稚園 平27年度事業報告

(1) 在籍状況(定員 300名)

	毎月1日												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	15	15	15	14	15	15	15	15	14	14	14	14	175
満3歳児	0	3	5	5	5	8	10	12	12	13	14	14	101
3歳児	47	47	47	48	48	48	49	49	49	49	49	49	579
4歳児	75	75	75	75	74	74	74	74	74	74	74	74	892
5歳児	83	83	83	83	83	82	82	82	82	82	82	82	989
計	220	223	225	225	225	227	230	232	231	232	233	233	2736

(2) 運営・経営状況

- ・園児数については昨年度より減少した。しかし、2歳児の入園は増えた。
- ・子ども子育て支援移行に伴い、2歳児と満3歳児の受け入れが別々になった(以前は3歳なった時点で満3歳児クラスへ移行)。そのため3歳児クラスへの進級人数がに増えた。
- ・認定の人数については予想に近い人数であった。年度始まりは1号から2号、2号か号への変更が多くあった。

(3) 怪我・事故

- ・病院で診断・治療を受けた回数は8回
(眼科2回・歯科2回・外科3回・脳外科1回)
- ・友だちとのかかわり方での怪我があり、保護者からの問い合わせがあった。状況の確認や友だちに対してのかかわり方の見直しを行った。

(3) 子育て支援事業

- ・すこやか広場(月に2回 園庭開放・職員と遊ぼう)
- ・あいあいルーム(親子コース 月2~3回・こどもコース 月3~4回)
- ・在園児の弟妹の一時預かり

(3) 職員研修

- ・新任研修・附属6園研修・三同教・保幼小中連携研修・運動あそび
- ・三田私立幼稚園研究部会・運動遊び・特別支援教育研修・子育てフォーラム
- ・日本保育学会・給食施設協議会

(4) 購入・修繕等

- ・倉庫の購入
- ・保育室のトイレの洋式化…順次工事
- ・強風のため、テントが破損、新しく購入。またオーニングが破れたため修理

(5) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(2校)・北摂三田高校体験保育・武庫小学校との交流
- ・教育実習受入・人と自然の博物館との交流(5歳児)
- ・地域行事参加(5歳児有志)…武庫小校区まつり
- ・コーラスの指導講師によるコンサートに参加(5, 4歳児有志)

(6) 広報・社会活動

- ・私立幼稚園研究部会世話係・保、幼、小連携に係るスタンダードカリキュラム(園長)

(7) 園内研究(委員会)活動

- ・卒業生と語る会出席・給食委員会

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 平成27年度事業報告

(1) 在籍状況(定員305名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	2	2	2	4	4	7	8	8	9	9	55
3歳児	71	70	70	70	70	71	69	69	69	68	69	69	835
4歳児	98	98	99	99	99	100	100	100	100	100	100	100	1193
5歳児	96	96	96	96	96	97	97	97	97	97	97	97	1159
計	265	264	267	267	267	272	270	273	274	273	275	275	3242

* 昨年度と比較して

- ・認定こども園になり、利用定員数が定員より減少した為、前年度までの定員一杯はとれなくなった。クラス数は変更無し。特別支援児童が増え、担任の負担は増えているので、今年度くらいの人数で安定した環境が確保できた。

(2) 運営・経営状況

- ・園長と主幹教諭の管理職が新しく就任し、戸惑いの多い年であった。養護教諭の採用により、保健衛生、雑務を安心して任せることは評価できる。認定こども園の経営の安定も年半ばまでわからず、予想した1号と2号枠の児童数も違い、事務処理も増加した。ただ、最終的には経営は昨年度より若干多い収入を得ることができた。

(3) 怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は15回
(外科・整形外科 8件 歯科 2件 眼科 5件)

(4) 子育て支援事業

- ・昨年同様の子育て支援事業を行った。利用希望者が増加し、全員の希望に添えない状況もあった。
過去は未就園児の幼稚園体験で、入園募集への一旦を担う見込みがあったが、利用定員の関係から未就園児クラスに所属しても入園できない事態になった。
保育内容はどの事業も創意工夫し、評価を得た。

(5) 職員研修

- ・新任研修、附属6園研修、三同教、県、市主催の研修、子育て支援研修ならびに夏期特別講座など多数参加した。保幼小中連携研修、特別支援研修、教員研修大会などにも大勢の職員が参加できた。

(6) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク2校受入れ、三田西陵、祥雲館高校との交流、すずかけ台小学校との交流を例年通り実施した。地域の大型店舗への絵の掲示、ウッディタウン市民センターでの絵の展示なども実施した。

(7) 広報・社会活動

- すずかけカーニバルへの出展協力、掲示板による園行事、子育て支援の掲載、笑顔ですくすくSUNだっこへの掲載等行った。

(8) 園内研究(委員会)活動

- ・兵庫県、三田市教育委員会、子ども支援課等の教育相談やアドバイスを受け、気になる児童への対応を職員会議等で報告した。湊川短大との研究会にも参加し、他園との情報交換等も行った。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 平成27年度事業報告

(1)在籍状況(定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	1	4	5	6	9	9	9	9	11	11	74
3歳児	42	42	41	41	41	42	43	44	43	43	44	43	509
4歳児	37	37	38	38	38	40	41	41	41	40	40	40	471
5歳児	35	35	35	36	36	36	36	36	36	35	35	35	426
計	114	114	115	119	120	124	129	130	129	127	130	129	1480

*昨年度と比較して

・入園率7月以降80%以上。

平成26年3月119名 平成27年3月129名

(2)運営・経営状況

認定こども園となり初年度の1年が過ぎた。教師個々の時間的な負担や事務量の増加等の諸課題はあったものの概ね順調な経営ができた。特に教職員全員が心を一つにしてよくまとまり、頑張ってくれた。保育や行事における活き活きとした園児の様子と成長を観る保護者から大きな信頼が得られた。また、保護者の会も三役を中心によくまとまり園に対して強い支えと協力がいただけた。そのようなことに因るのか、近隣の住宅建設も追い風になったのか園児の応募人数が増え保育室の増設が適えられた活気に満ちた1年となった。

(3)怪我・事故

・病院で診断・治療を受けた回数2回(眼科1回、耳鼻咽喉科1回)

(4)子育て支援事業

・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放びを設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。

・三田市子育てステーション事業

・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業

・兵庫県わくわくようちえん事業

(5)職員研修

・附属6園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・保幼小連携研修・教員研修大会

(6)購入・修繕等

購入 会議用テーブル

修繕 1、2階廊下補修、玄関通路補修、園舎外壁補修

増設 保育室1室増設

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウイーク・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい連炎流との交流・湊川短大「湊川のあゆみ」

・県立有馬高校生体験保育受け入れ

・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8)広報・社会活動

・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載・県立祥雲館高校との交流新聞掲載・園飼育の羊の毛刈り新聞掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症委員会

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成27年度事業報告

(1)在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	4	4	6	8	8	10	9	10	11	11	11	11	103
1歳児	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	152
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	169
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
計	80	80	82	84	85	87	86	87	88	88	88	89	1024

* 4月2日現在は定員の115%以下しか受入できない。(国よりの通達)

* 5月1日より定員の120%以上の受入可能。但し、通年平均で120%を超える入所数が2年続くと定員増の申請を取らなくてはならない。

(2)運営・経営状況

・子ども子育て新制度がスタートしたが、大きな変動はなく、例年通りの運営が行えた。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は9回(歯科7件、整形外科1件、耳鼻科1件)いずれの怪我も完治内、8件は病院での診察が1回のみで終了。

(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は2件。)

(3)子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
- ・しうがい児保育を継続し行った。

(3)職員研修

- ・新任研修、附属6園研修、三同教、阪神同教、睦保会研修(三田市内認可保育園所6園合同)、他園見学、体作り講習会、初級絵画指導インストラクター養成講座、3歳未満児の絵画指導研修、保育内容研修、あそびうた研修会、幼児の造形教育研修会、給食施設協議会、保幼小中連携研修等を実施した。

三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)

(4)購入・修繕等

- ・ホール上屋根の水漏れ修理
- ・調理室食材冷却機(プラストチラー)買い換え

(5)異年齢交流・連携事業活動

- ・どらいやるウイーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学1回生来園、附属短大生との交流すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園との年長児交流会
- 保育士養成校の保育、実習生受け入れ、有馬高校ボランティア等を実施した。

(6)広報・社会活動

就学前接続カリキュラム委員会

(7)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議
- ・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
- ・睦保会会計を1期務めた。
- ・湊川短大卒1、2年目の保育士が附属園勤務の卒業生と語る会に参加した。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一會計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一會計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたもので、通常の研究教育に関する収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどういう収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれています。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになります。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常に保持すべき資金（消費支出の1ヶ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

資金収支計算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,283,861	1,293,502	△ 9,641	学生生徒等納付金収入	1,054,695	1,035,211	19,483
教育研究経費支出	482,012	478,123	3,890	手数料収入	46,476	46,779	△ 303
管理経費支出	344,337	352,328	△ 7,992	寄付金収入	13,353	11,176	2,177
借入金等利息支出	750	750	0	補助金収入	928,785	938,151	△ 9,366
施設関係支出	271,408	272,758	△ 1,350	資産運用収入	47,006	50,076	△ 3,070
設備関係支出	28,910	26,359	2,551	資産売却収入	599,800	599,800	0
資産運用支出	774,927	779,361	△ 4,434	事業収入	77,055	81,088	△ 4,033
その他の支出	327,831	424,025	△ 96,194	雑収入	70,960	77,628	△ 6,669
予備費	200	0	200	借入金等収入	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 44,257	△ 150,025	105,768	前受金収入	250,563	257,707	△ 7,144
次年度繰越支払資金	1,642,592	1,702,870	△ 60,278	その他の収入	483,137	565,003	△ 81,866
支出の部合計	5,112,571	5,180,051	△ 67,480	資金収入調整勘定	△ 272,138	△ 295,449	23,311
				前年度繰越支払資金	1,812,880	1,812,880	0
				収入の部合計	5,112,571	5,180,051	△ 67,480

事業活動収支計算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,283,861	1,291,635	△ 7,774	学生生徒等納付金	1,054,695	1,035,211	19,483
教育研究経費	627,722	618,010	9,712	手数料	46,476	46,779	△ 303
管理経費	363,021	371,006	△ 7,985	寄付金	13,353	14,152	△ 799
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補助金	928,785	938,151	△ 10,082
				事業収入	77,055	81,088	△ 4,033
教育活動収支差額	△ 83,282	△ 86,926	3,644	雑収入	70,960	77,628	△ 6,669
借入金等利息	750	750	0	受取利息・配当金	47,006	50,076	△ 3,070
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	46,256	49,326	△ 3,070				
資産処分差額	93,249	97,679	△ 4,430	資産処分差額	0	0	0
その他の特別支出	0	0	0	その他の特別収入	0	0	0
特別収支差額	△ 93,249	△ 98,394	5,145				
支出の部合計	2,238,329	2,243,087	△ 4,757	収入の部合計	2,238,329	2,243,802	△ 5,473
予備費	200	200					
基本金組入前年度収支差額	△ 130,474	△ 135,994	5,520				
基本金組入額合計	357,150	93,664	263,486				
当年度収支差額	△ 487,625	△ 229,658	△ 257,967				
前年度繰越消費収入超過額	504,001	504,001	0				
基本金取崩額	0	239,833	△ 239,833				
翌年度繰越消費収入超過額	16,376	514,176	△ 497,800				

貸借対照表
平成28年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,715,560	7,490,150	225,410
(1)有形固定資産	4,570,342	4,523,968	46,374
(2)その他の固定資産	3,145,218	2,966,182	179,036
流動資産	1,773,902	2,111,514	△ 337,612
合計	9,489,462	9,601,664	△ 112,202

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	351,394	353,261	△ 1,867
流動負債	418,310	392,652	25,659
第1号基本金	8,063,010	8,211,751	△ 148,741
第4号基本金	142,572	140,000	2,572
消費収支差額	514,176	504,001	10,176
合計	9,489,462	9,601,664	△ 112,202

活動区分資金収支計算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,190,034
教育活動資金支出計	2,123,953
差引	66,081
調整勘定等	65,563
教育活動資金収支差額	131,644

施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	0
施設整備等活動資金支出計	413,204
差引	△ 413,204
調整勘定等	202,026
施設設備等活動資金収支差額	△ 211,178

その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	916,742
その他活動資金支出計	947,218
差引	△ 30,476
調整勘定等	0
施設設備等活動資金収支差額	△ 30,476

支払資金の増減額	
項目	金額
前年度繰越支払資金	1,812,880
翌年度繰越支払資金	1,702,870

過去三年の財務の推移表

単位 千円

消費収支計算書		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	
学生生徒納付金	1,108,139	49.9%		1,107,275	43.6%					
手数料	38,215	1.7%		43,813	1.7%					
寄付金	9,468	0.4%		12,463	0.5%					
補助金	708,917	31.9%		902,883	35.5%					
資産運用収入	109,684	4.9%		81,414	3.2%					
資産売却差額	15,654	0.7%		158,686	6.2%					
事業収入	88,675	4.0%		95,862	3.8%					
雑収入	142,016	6.4%		138,911	5.5%					
帰属収入合計	2,220,768	100.0%		2,541,306	100.0%					
基本金組入額合計	△201,425	-9.1%		△202,368	-8.0%					
消費収入合計	2,019,343	90.9%		2,338,938	92.0%					
人件費	1,263,113	56.9%		1,305,910	51.4%					
(教育研究経費支出)	245,838	11.1%		307,501	12.1%					
(奨学費支出)	78,285	3.5%		52,486	2.1%					
(減価償却額)	137,854	6.2%		132,518	5.2%					
教育研究経費 合計	461,977	20.8%		492,505	19.4%					
(管理経費支出)	203,830	9.2%		231,197	9.1%					
(減価償却額)	19,479	0.9%		19,662	0.8%					
管理経費 合計	223,309	10.1%		250,859	9.9%					
借入金等利息	541	0.0%		282	0.0%					
資産処分差額	6,608	4.7%		161,222	116.1%					
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		0	0.0%					
消費支出合計	1,955,548	88.1%		2,210,778	87.0%					
当年度消費収入超過額	63,795			128,159						
前年度繰越消費収入超過額	312,042			375,841						
基本金取崩額	0			0						
翌年度繰越消費収入(支出)超過額	375,837			504,001						

単位 千円

資金収支計算書		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	
学生生徒納付金収入	1,108,139	20.4%		1,107,275	20.8%		1,035,211	20.0%		
手数料収入	38,215	0.7%		43,813	0.8%		46,779	0.9%		
寄付金収入	8,623	0.2%		9,256	0.2%		11,176	0.2%		
補助金収入	708,917	13.1%		902,883	17.0%		938,151	18.1%		
資産運用収入	109,684	2.0%		81,414	1.5%		50,076	1.0%		
資産売却収入	915,667	16.9%		460,941	8.7%		599,800	11.6%		
事業収入	88,675	1.6%		95,862	1.8%		81,088	1.6%		
雑収入	141,956	2.6%		138,911	2.6%		77,628	1.5%		
借入金等収入	0	0.0%		150,000	2.8%		0	0.0%		
前受金収入	241,580	4.4%		228,781	4.3%		257,707	5.0%		
その他の収入	372,582	6.9%		492,275	9.2%		565,003	10.9%		
資金収入調整勘定	△367,359	-6.8%		△539,717	-10.1%		△295,449	-5.7%		
前年度繰越支払資金	2,065,554	38.0%		2,151,734	40.4%		1,812,880	35.0%		
資金収入合計	5,432,233	100.0%		5,323,429	100.0%		5,180,051	100.0%		
人件費	1,266,710	23.3%		1,312,245	24.7%		1,293,502	25.0%		
教育研究経費支出	323,285	6.0%		357,889	6.7%		478,123	9.2%		
管理経費支出	203,829	3.8%		231,197	4.3%		352,328	6.8%		
借入金等利息支出	541	0.0%		282	0.0%		750	0.0%		
借入金等返済支出	19,980	0.4%		0	0.0%		0	0.0%		
施設関係支出	136,311	2.5%		543,707	10.2%		272,758	5.3%		
設備関係支出	24,798	0.5%		51,906	1.0%		26,359	0.5%		
資産運用支出	1,043,781	19.2%		661,445	12.4%		779,361	15.0%		
その他の支出	399,526	7.4%		494,709	9.3%		424,025	8.2%		
資金支出調整勘定	△138,262	-2.5%		△142,831	-2.7%		△150,025	-2.9%		
次年度繰越支払資金	2,151,734	39.6%		1,812,880	34.1%		1,702,870	32.9%		
資金支出合計	5,432,233	100.0%		5,323,429	100.0%		5,180,051	100.0%		

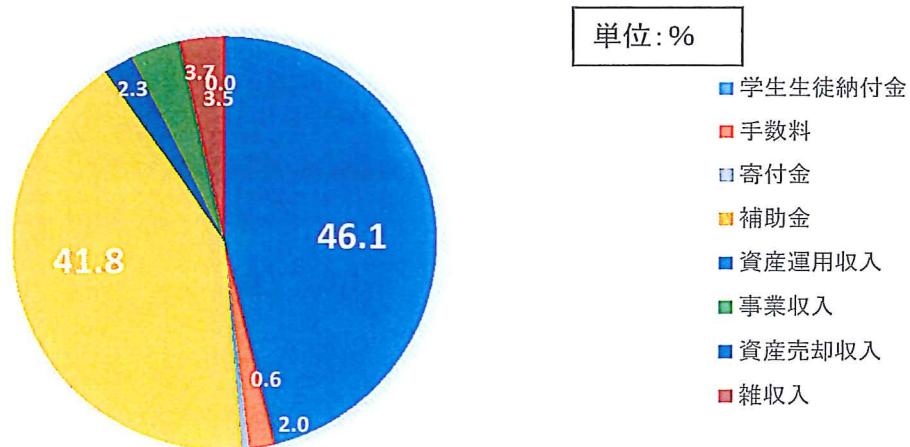
過去三年の財務の推移表②

単位 千円

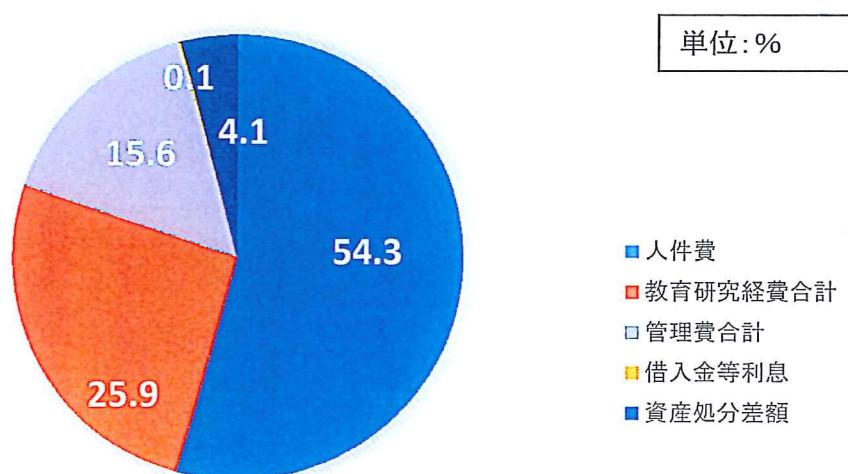
事業活動収支計算書		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
大科目		短大327名 高校1,108名 幼稚園 955名 保育所80名								
		金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学年生徒納付金		1,035,211	47.2%							
手数料		46,779	2.1%							
寄付金		14,152	0.6%							
補助金		938,866	42.8%							
資産運用収入		0	0.0%							
資産売却差額		0	0.0%							
事業収入		81,088	3.7%							
雑収入		77,628	3.5%							
教育活動収入計		2,193,726	100.0%							
人件費		1,291,635	58.9%							
(教育研究経費支出)		425,031	19.4%							
(授業費支出)		53,091	2.4%							
(減価償却額)		139,887	6.4%							
教育研究経費 合計		618,010	28.2%							
(管理経費支出)		352,328	16.1%							
(減価償却額)		18,678	0.9%							
管理経費 合計		371,006	16.9%							
徴収不能引当金繰入額		0	0.0%							
教育活動支出計		2,280,652	104.0%							
教育活動収支差額		△86,926	-4.0%							
受取利息・配当金		50,076	2.3%							
その他の教育活動外収入		0	0.0%							
教育活動外収入計		50,076	2.3%							
借入金等利息		750	0.0%							
その他の教育活動外支出		0	0.0%							
教育活動外支出計		750	0.0%							
教育活動外収支差額		49,326	2.2%							
経常収支差額		△37,600	-1.7%							
資産売却差額		0	0.0%							
その他の特別収入		0	0.0%							
特別収入計		0	0.0%							
資産処分差額		97,679	4.5%							
その他の特別支出		715	0.0%							
特別支出計		98,394	4.5%							
特別収支差額		△98,394	-4.5%							
基本金組入前當年度収支差額		△135,994	-6.2%							
基本金組入額合計		△93,664	-4.3%							
當年度収支差額		△229,658	-10.5%							
前年度繰越収支差額		504,001								
基本金取崩額		239,833								
翌年度繰越収支差額		514,176								

平成27年度決算報告グラフ他分析資料

平成27年度 事業活動収入の構成比



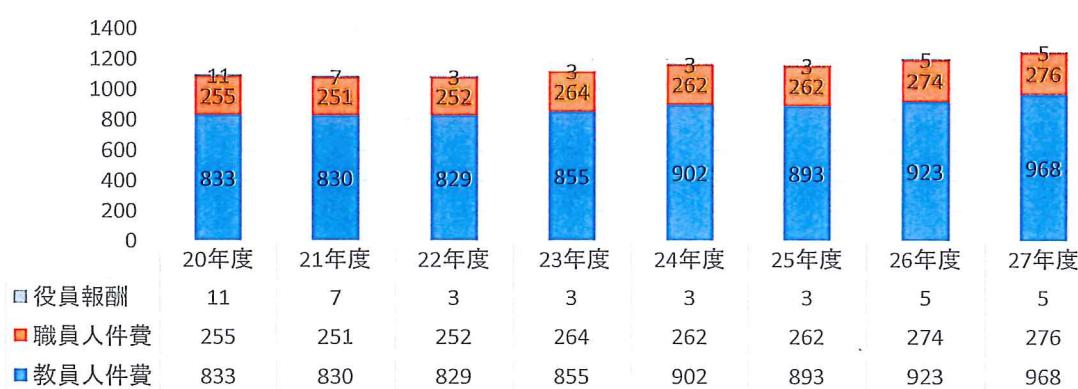
平成27年度 事業活動支出構成比率

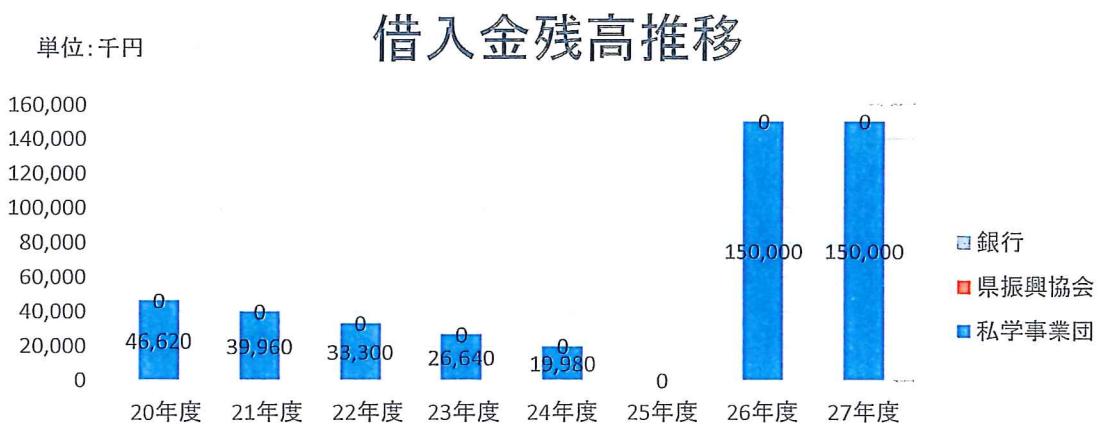
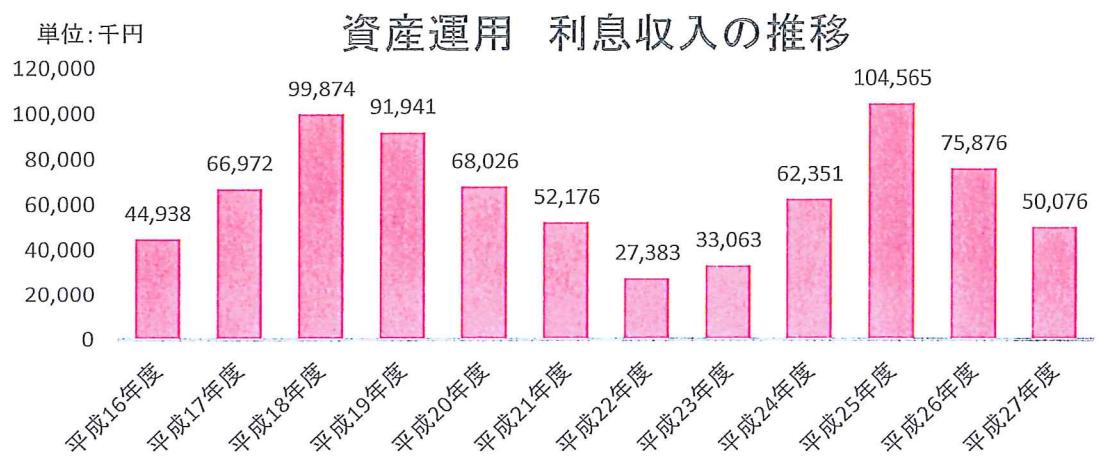


人件費(消費支出)の推移

単位: 百万円

■教員人件費 ■職員人件費 □役員報酬

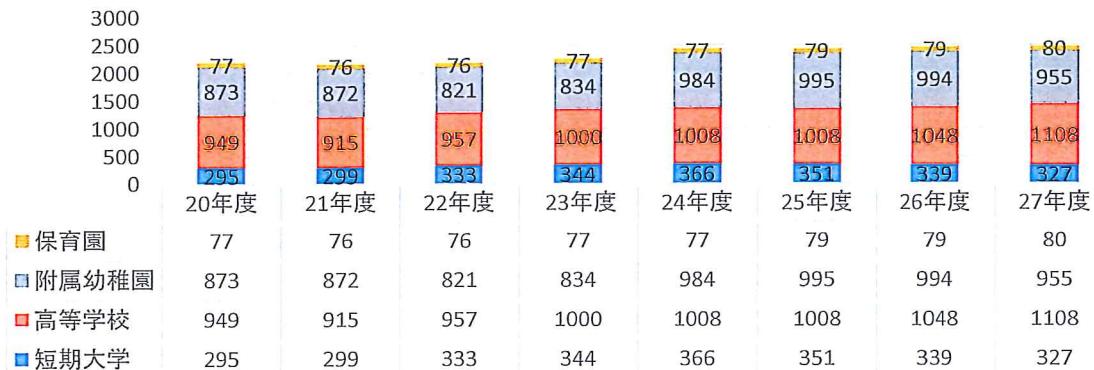




学生数の推移

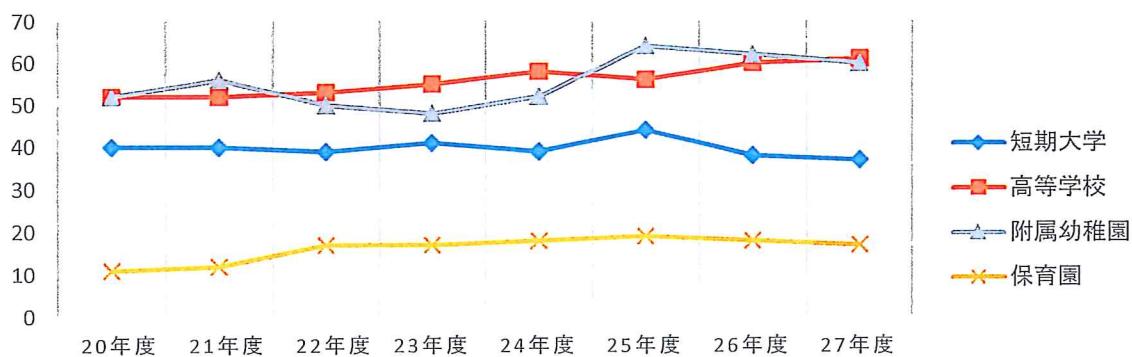
単位:人

■短期大学 ■高等学校 □附属幼稚園 ■保育園



教職員の推移

単位:人



◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位:%

比率	算式(×100)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人件費比率	人件費÷帰属収入	60.7	56.9	51.4	57.6
人件費依存率	人件費÷学生成生徒等納付金	110.3	114.0	117.9	124.8
教育研究経費支出率	教育研究費÷帰属収入	20.0	20.8	19.4	27.5
管理経費支出率	管理経費÷帰属収入	12.1	10.1	9.9	16.5
消費支出比率	消費支出÷帰属収入	92.9	88.1	87.0	106.1

※平成27年度より帰属収入に代わり事業活動収入

※平成27年度より消費支出に代わり事業活動支出

平成28年5月19日

監査報告書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅井祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監事 下山 隆一郎

監事 木寅文雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づいて同学園の平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務執行状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財算目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。